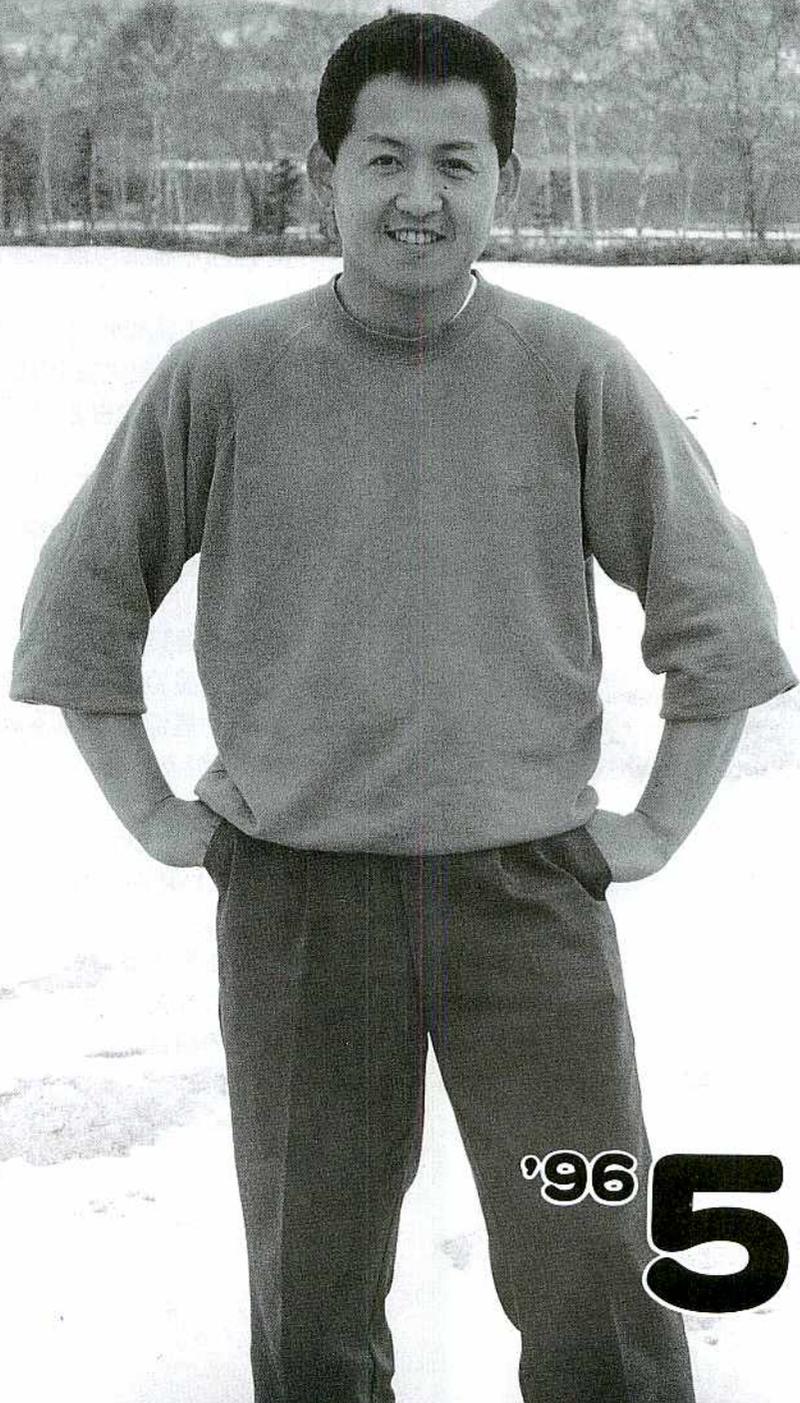


のうきよう まがしづ



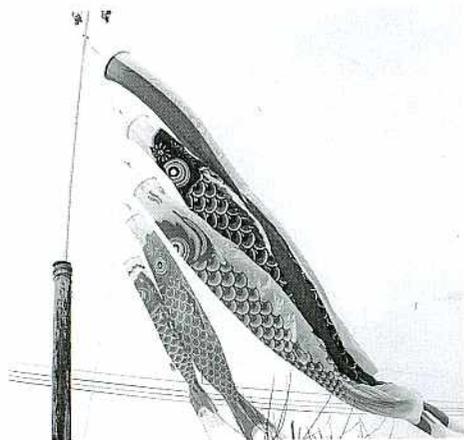
'96

5

No.257

のうきょう ものがいづつ

五月の空に泳ぐ鯉のぼり。
春の風も全身に受け力強く泳いでいる。
忙しい春の農作業もスタート。
大地も力強く踏みしめ豊穰を期待したい。

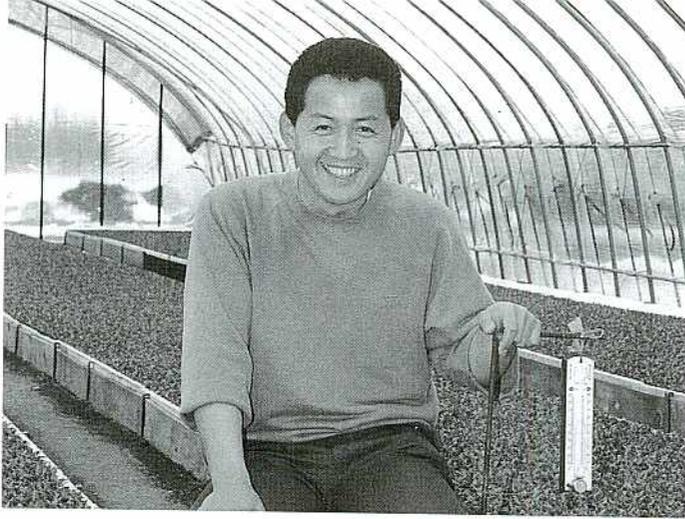


もくじ

- 3 ———— 〈未来を担う若者〉
将来の方向性を考えて
東武佐 安達 幸一さん(28歳)
- 4 ———— 第49回中標津町農協通常総会
- 6 ———— 〈営農技術〉
放牧期の飼養管理
- 7 ———— 「ホクレン夢大賞」の受賞を祝う
- 8 ———— 第36回中標津B & Wショウ
- 9 ———— ミルクタイム
- 10 ———— 〈輝く女性〉
意気込みをもって活動
俣落 遠藤ハル子さん
- 11 ———— 〈組合長日誌〉
農協再構築を新たに
- 12 ———— 第43回農協婦人部通常総会
- 13 ———— 第48回農協青年部通常総会
- 14 ———— 第7回酪農ヘルパー利用組合総会
- 15 ———— 〈理事会の経過〉
第1回・第2回理事会
- 16 ———— 第45回JA根室地区青年部連絡協議会総会
- 17 ———— 〈暮らしの知恵袋〉
家計を考える〈教育費〉
- 18~19 ———— 今月のフォトアルバム
- 20 ———— 4月の組合日誌

あす 未来を 担う若者

東武佐 安達幸一さん(28歳)



21世紀を見据えた将来をと話す安達幸一さん

東武佐の三栄農場は、安達勉さん、榊雄さん、武さんの兄弟三人で馬鈴しょ約五十畝、てん菜十五畝、肉牛五十頭に魚の養殖を行なう協同経営の農場。

この農場で、機械のオペレーター、修理部門を担当するのは安達幸一さん(榊雄さんの長男)二十

将来の方向性を考えて

八歳。武佐の小中学校を卒業後は釧路の職業訓練専門学校の自動車整備科に進学。「小さい頃から機械が好きで、父が機械を修理する姿をいつも後ろから見ていた」といいます。

専門学校では二年間、一般教養と整備の基本を学び卒業、その後整備士の資格を取得するために自動車整備工場に就職し(資格取得には、実務経験が必要のため)一年ほどで二級整備士の免許を取得したといいます。この工場にはもともと長く勤めるつもりだったようですが、一年半ほどで工場が倒産

した事により三営農場の構成員として現在に至っています。

幸一さんの担当は、トラクター作業などのオペレーターと農機具の修理点検が主で、春の馬鈴しょ、てん菜の蒔きつけ、秋の収穫時期には朝から晩まで約二カ月間はトラクターに乗りっぱなし。また肉

牛も飼養していることから、約二十畝の乾牧草作りも行なっています。

無農薬、有機農法 野菜の取り組み



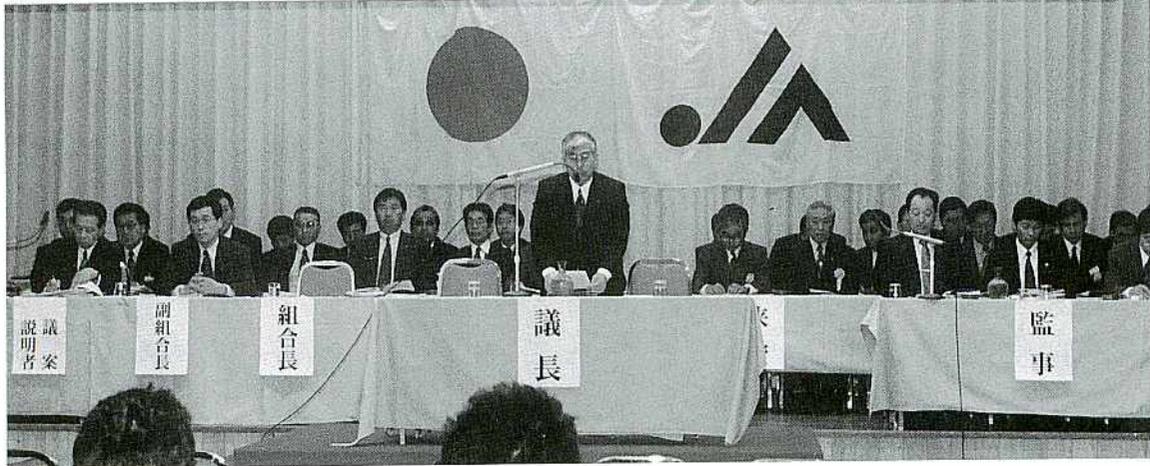
奥さんの清美さん、長女・文香ちゃん、長男・凌くん、次男・翔くんと共にがんばる幸一さん

今、幸一さんは野菜研究会に所属し、中標津における第三の作物を模索中。今までもゴボウや長イモ、ホウレン草などを試験栽培、今年は苜、アスパラの栽培にチャレンジして行くと意欲的で、野菜については、有機農法、無農薬のレットルを貼つての取り組みを将来像として考えていると話します。

また「今後、三営農場の後継者三人が揃った時には、二十一世紀を見据えた経営基盤の強化、規模拡大を図って行かなければならない」と将来の方向性も考えています。

める真の農協作りへ出発

中標津町農業協同組合第49回通常総会



第49回中標津町農協通常総会

中標津町農協第四十九回通常総会が、四月三十日、町内の寿宴で開催され、平成七年度事業報告、平成八年度事業計画、なかしべつフーズ㈱清算解散に係る協議事項の他、出席組合員からの緊急動議①なかしべつフーズ㈱清算額の一部を同社役員が負担する事に反対する動議。②Aコープ中標津店移転に係る土地集積を求める動議など、組合員の参画する真の農協として英知を結集した総会となりました。

開会にあたり三友組合長から酪農、畜産、畑作、なかしべつフーズ㈱、乳製品工場、住専問題、根室北部四農協合併の検討、ストアーの土地集積見送りなど平成七年度の実業概要が述べられ、この中で昨年度総会で再建案を承認した、なかしべつフーズ㈱について、再建五カ年計画の二年目となる七年度と、過去の実績を踏まえ同社を清算解散する事の報告がなされました。

続いて多数出席された来賓の中から根室支庁、安藤農業振興部長、



総会では各地区ごとに受け付けが行なわれました

中標津町・新出町長、系統連合会を代表し、北農中央会中標津支所・猪野毛支所長の各氏から祝辞が話されました。この中で猪野毛支所長は、「二〇〇一年の国際化時代に向けて将来展望を見据えての自己努力、経営体質強化を組合員、役員、職員が一致して力を結集し、難局を乗り越えていただきたい」と述べられました。

議長には、第二俣落地区の弾正原

組合員の求

なかしべつフーズ(株) 清算解散に論議



出議、要望に対し答弁に立つ三友組合長

の事業実績を踏まえて、八年度に向けての組合員が求める農協作りに対する論議が交されました。協議事項で提案された、なかしべつフーズ(株)の清算解散については、清算解散を決定した経過と、その処理案についての説明がされ、処理に対する方向性について多数の出議が交されましたが、フーズは協同会社としての位置付けから処理案を承認し、清算財源額などが確定してから改めて各地区別懇談会



農協の慎重な事業展開を求むと佐伯さん

正春氏と、中標津地区の佐藤敏氏が推薦で選任され議事に入りました。議事では、乳製品工場運営を心配する意見や人工授精業務の充実を求める要望、農協役員の活動しやすい環境作りなど、平成七年度

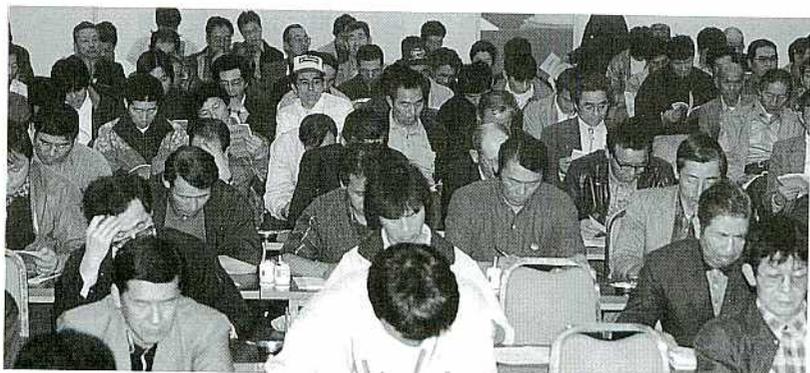


長期的な組合員のための方策をと峰松さん

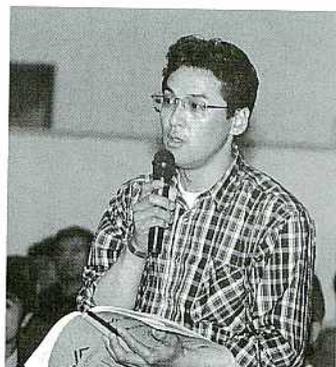
で理解を得ながら、臨時総会を開催し決定して行く事となりました。また、フーズ清算に係る役員の欠損金負担反対動議は、賛否両論が出されましたが、賛成多数で役員に負担させない事に決定いたしました。

ました。さらにAコープ中標津店土地集積を求める動議については、再度役員で検討を加え、地区別懇談会で協議する場を設ける事となりました。

最後に三友組合長から、「今、総会での課題を踏まえ、組合員の運営する農協としてゼロから再出発し、組合員、役職員が一体となりこの難局を乗り越えて行きたい」との挨拶で総会を閉会いたしました。



明日の農協づくりに向け真剣に議案を協議



乳製品工場の健全経営を要望する桜井さん

放牧期の飼養管理

根室管内では豊富な草地資源を背景として、八〇〇の農家が放牧利用を導入しています。今月は、根釧農業試験場で実証された高泌乳（経産牛九千酪／年）生産技術について紹介します。

一、昼夜放牧における給与例

表一に給与例を示しました。泌乳前期の乳量三十八酪／日、乳脂肪率三・四酪。中期三十酪／日、三・六酪。

後期二十四酪／日、三・八酪とし、併給飼料を構成する濃厚飼料にはトウモロコシと大豆粕、NDF源には牧草サイレージとビートパルプを用いています。

二、給与例・使用上の注意

(1)この給与例は泌乳初期を除いたものです。

(2)放牧草の摂取量は乾物十一〜十

三酪／日であり、併給飼料を設計する場合には安全を見込んで十一酪／日とします。

(3)泌乳前期にはTDN摂取量が、九・八酪／日となる併給飼料を給与します。

(4)NDF含量は乳脂肪率に影響し、三五酪前後の含量では三・五酪以下と低くなることがあるので、NRC推奨値よりも高い四〇酪程度が必要です。

(5)牧草サイレージの多給は放牧草の摂取量を低下させ、TDN摂取量を高める効果が認められないので、乾物二〜三酪／日にとどめます。

表二に泌乳初期、最盛期の給与例を示しました。

初期は十時間、最盛期は十四時間の制限放牧で、放牧方法は一日

表1、昼夜放牧における飼料給与例

	泌乳前期牛 FCM量=34.6kg		泌乳中期牛 FCM量=28.2kg		泌乳後期牛 FCM量=23.3kg	
	乾物	現物	乾物	現物	乾物	現物
放牧草の期待摂取量 (kg)	11.0	61.1	11.0	61.1	11.0	61.1
牧草サイレージの給与量 (kg)	2.0	5.7	2.0	5.7	3.0	8.6
濃厚飼料の給与量 (kg)	6.6	7.5	4.4	5.0	3.0	3.4
ビートパルプの給与量 (kg)	3.5	4.0	2.6	3.0	1.7	2.0
合計 (kg)	23.1	78.4	20.0	74.8	18.7	75.1
養分含量 (%)	TDN 74.6		72.8		70.8	
	CP 15.9		15.7		15.5	
	NDF 42.7		45.5		48.3	
	ADF 23.5		25.4		27.3	

図1、泌乳成績

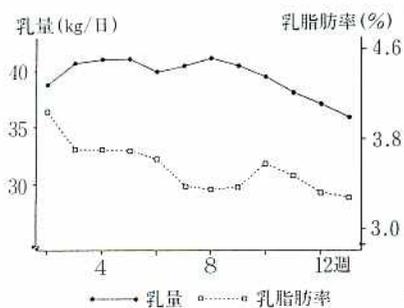


表2、泌乳初期における給与例

	分娩後週	放牧方法	牧草サイレージ	kg		
				圧ベン トウモロコシ	大豆粕	ビートパルプ
泌乳初期	1〜5	制限放牧	自由	6.8	1.1	2.9
泌乳最盛期	6〜13	昼夜放牧	0	7.2	1.2	3.1

績とまとめ

(1)泌乳成績を図一に示しました。分娩後二〜十三週の平均乳量は三十九・六酪／日と高く、泌乳持続性も良いです。乳脂肪率は分娩後二〜五週で三・七八酪と高くなっていました。以降三・四二酪に低下しました。

(2)泌乳初期に放牧時間を制限し、牧草サイレージを充分給与することにより、乳量、乳脂肪率が安定します。

一牧区の輪換放牧とし、舎飼時間に牧草サイレージを自由に採食させ、濃厚飼料およびビートパルプは一日三回に分け給与し、ミネラルは二百五十酪／日を追加しています。

四、泌乳成

ホクレン夢大賞受賞祝賀会

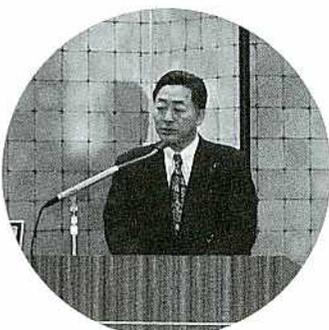


受賞を受けた南ファム・エイ社員の皆さん

酪農ヘルパー(有)ファム・エイ

「ホクレン夢大賞」の受賞を祝う

酪農ヘルパー事業を運営する(有)ファム・エイが、「ホクレン夢大賞」の大賞(農業応援部門)を受賞したことを祝う受賞祝賀会が四月三日、中標津町内の寿宴で開かれ、農業関係者約百人が出席し大賞受賞を祝いました。



受賞の喜びを胸に謝辞を述べる
白井社長

さらなる活躍を期待

この祝賀会は、ホクレン夢大賞の受賞を記念してJ A中標津、計根別、上春別の利用組合で組織する「ファム・エイ酪農ヘルパー利用組合連絡協議会」(長正路清代表)が主催して開かれたもの。

祝賀会では長正路代表が「農休日という労働力の提供と共に、担い手育成にも貢献した事が受賞につながった。この喜びを皆さんでわかち合い、今後の活躍に期待したい」とあいさつ。続いて来賓の新出町長、高田根室支庁農務課長、酪農ヘルパー全国協会の星井専務が「受賞を契機に地域酪農の発展、

活性化にさらなる活躍を」とそれぞれ祝辞が述べられました。

この祝辞に対し(有)ファム・エイ白井代表取締役が、課題の多かった設立当手を振り返りながら「今後もヘルパー事業を通して農業の発展に一生懸命取り組んでいきたい」と謝辞が述べられました。

祝賀会では、三農協を代表して坂脇上春別農協組合長の音頭で乾杯、祝宴に入り祝福のテーブルスピーチやヘルパーで活躍する職員の紹介なども行なわれ、出席者全員が受賞を祝いました。

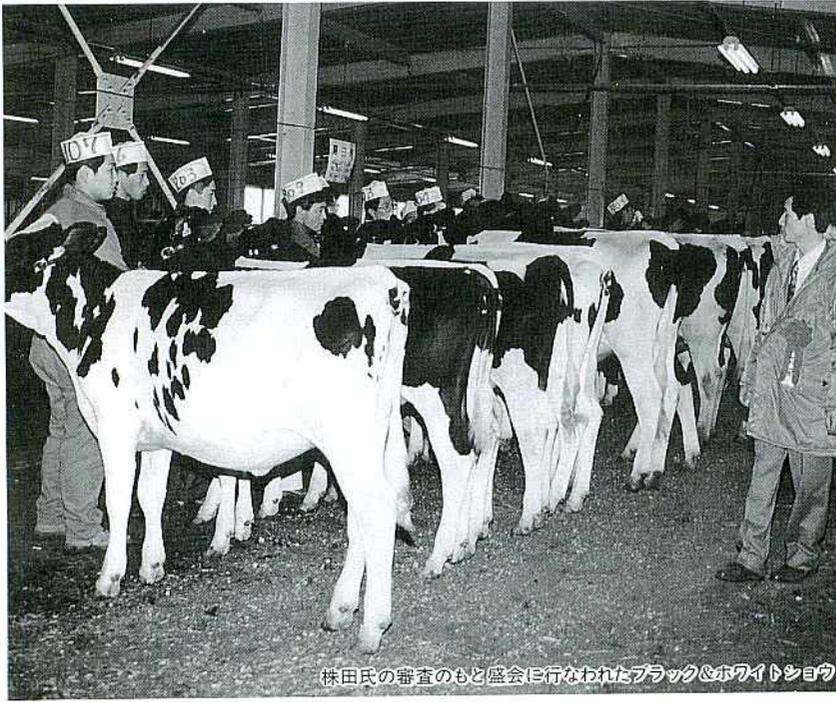


受賞を祝い乾杯

第36回
中標津
B&Wショウ

ジャツジングの勉強会も

春一番の
ショウに44頭出陳



株田氏の審査のもと盛会に行なわれたブラック&ホワイトショウ

根室管内春一番の乳牛ショーとして注目を呼ぶ、中標津乳牛改良同志会主催（弾正原正会長）の中標津ブラック&ホワイトショウが4月21日、ホクレン家畜市場で開催されました。



B&Wショウチャンピオン牛、関係者がぞろぞろ

管内トップを切つてのショーとあって、中標津同志会会員のほか、管内の酪農家や関係機関など約八十人が見学に詰めかけました。ショーは、一部九カ月末満の未經産牛から乳器最高位の十部まで自慢の愛牛四十四頭が出陳され、審査員には、中標津町計根別の酪農家・株田宏氏があたり、若手ながらも、的確かつスピーディーな審査で次々と序列を付け、グランドチャンピオンには、弾正原正さ

部	等	名	号	出品者	賞
1	1	ハビィ イースト	クリス スタート	福村 稔	
2	1	サニードール	アールチェ ブローカー	弾正原 正	
3	1	ヒンベルファーム	プリンセス ビーナス	佐々木昭雄	JC
4	1	ゴールド	クリスチナ ジェッド	工藤 賢司	JRC
5	1	ハッピーランド	ゴールド バリアン	福嶋 信博	
6	1	ウイステリア	エンプレス ベッシー	弾正原 正	RC
7	1	ローマンデール	クリスチナ マリー	川村 尊之	
8	1	サニードール	ミスティ レーモン	弾正原 正	
9	1	マックス	エレベーション スター	弾正原 正	GC
10	1	マックス	エレベーション スター	弾正原 正	

ん出陳のマックス・エレベーション・スターが選ばれました。また、観客にも勉強の場をと、第六部ではジャツジングコンテストも行なわれ、観客、出品者一体となった有意義なショーとなりました。各部位入賞牛は次の通りです。

MILK

みるく・たいむ

TIME

期待、信頼に 応えられる様、努力

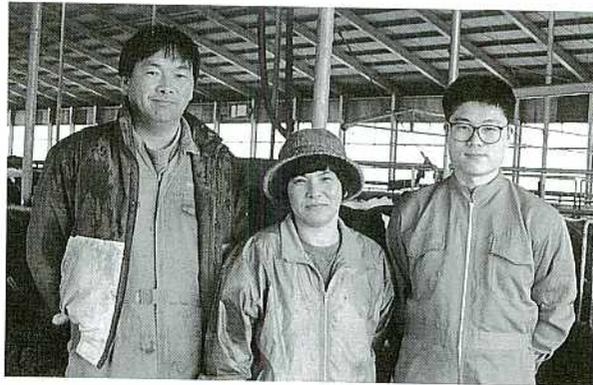
新職員 進藤 宏陽

今年度からJA中標津に勤務させて頂くことになりました進藤宏陽です。

初出勤の日、職場の緊張した雰囲気にとまどいを感じ、どうしてよいのかわからないまま、翌日、上村重光氏の牧場にて、酪農実習を経験させていただきました。

そこで得たものとして、搾乳、作物の収穫などの作業を、いかに費用を少なく、効率良く、短時間でこなうことが出来るのかということと、酪農家が抱えている諸問題について、大変気を遣っていることの二点であります。

現在、私は八日から始まりました新採用者対象の研修に参加して



実習先の上村重光さん夫妻と共に

おります。

そこで農協の理念、業務について多く学び、職員の方々、組合員の皆様の期待、信頼に応えられるよう努力していきたいと考えております。

最後に職員の先輩方、組合員の皆様の温かいご指導、ご支援にたい頭張りますので、どうぞよろしくお願い致します。

春だ、 花見だ、春五月

豊岡 望月 幸夫

(K)・・おはようございます。早いお出かけですね。

(M)・・機械がこわれたが、もう一日で肥料まきが終わるので張りきっているんだよ。

(K)・・無理をしないでがんばって下さい。桜も咲いて良い季節になりましたね。

(M)・・毎年、協和の長縄さんの畑の中の桜並木が見事なので、今日も通って来たんだけど、きれいな花

を見て「ハタ」と気がついた事がありましたね。

(K)・・それはまた、何でしょう。

(M)・・標津線の南六号踏切りを渡る時、「汽車」という歌を歌いながら、この詞は作詞者が協和に来て作ったんでないだろうか。

(K)・・そんな事ないでしょうが、どうしてですか？

(M)・・今は山中、今は浜と行って森や林や田や畑、後へ後へと飛んで行く。と言う様に、削蹄の森さんでしょ、林仁一郎さんもおられるし、連田さんの「田」と、むつころうさんの畑さんと四軒そろっておられるでしょう。

(K)・・なるほどなりあ。しかし、この唄は明治の頃に作られたと思うし、第一むつころう先生があとここに来たのは十五年程前だし、森さんも十年くらいしかたっていないし、時間的に無理があるんじゃないですか？

(M)・・むむ、そうか、やっぱり俺は考える事が浅はかなあり。五十歳にもなって三友組合長に「みつともない」と言われるね。

(K)・・？!!

(お名前無断使用お許し下さい)

8
ファイト&トライ

輝く女性

保 落
遠藤ハル子さん

昭和17年4月11日、別海町で生まれる。

中西別中学校卒業後、家業である酪農業を手伝う。

20歳で結婚し中標津へ。

現在、乳牛約150頭を飼養する酪農専業農家。ご主人、長女夫妻、孫2人の6人家族。



意気込みをもって活動

趣味はカラオケ、三味線など色々な事にチャレンジしている遠藤さん。まだまだ、本格的ではないといいますが、少しずつできてきた生活の余裕の中で、自分なりの楽しみをみつけているようです。現在は、家族の健康管理や第一線で頑張る長女夫妻のサポートをしています。が、かわいい孫にも囲まれて、なかなか忙しい毎日のようです。昨年は、初の海外旅行に行くチャンスにも恵まれて、貴重な体験ができたようです。

「行って感じたけれど、若い人ももっと参加すれば、本当にいいと思う」と、吸収できる事の多さを実感し、貴重な体験を多くの人もしてもらいたいと言います。

旅行へ参加する前は、女性として長期間家を空ける事の不安などもあったが、家族の理解と協力があつてこそ実現できたようです。だからこそ、自分だけが楽しむだけでなく、おみやげ話しをたくさん作って、家族みんなに喜んでもらう事も、旅行へ行く人の役割だと話すハル子さん。家族の代表で行くんだという気持ちだが、旅行を充実させた時間にできたようです。

いつでも、家族みんなで話しあう事を大切にしているという遠藤さん。経営に対しても積極的に意見を出しあつて、何かあつた時は、みんなでカバーしあつていこうと、いつでも家族一丸となつて頑張っています。

今年、女性部の役員となり活躍していくハル子さん「色んな人声をかけ合つて、活動の中でたくさんの人と楽しみたい」とはりきっています。また、部員の中でも女性部として意気込みをもって欲しいと話します。「人生は楽しくいかなくちゃ」といつでも前向きに、いつでも夢をもつ女性でありたいと話す遠藤さんです。



いつも明るく、家族を見守るハル子さん

農協再構築を新たに

輝く陽ざしの中で、ふと小鳥のさえずりに誘われ、周囲に眼をこらせば、いつの間にか木々に萌ゆる芽がふくらんでいました。

恵まれた好天の中、第四十九回中標津町農協通常総会が開催されました。

今年の総会はフーズ清算、解散という大きな課題を抱えており、多くの組合員の皆さんの出席をいただき緊迫した中で行なわれました。若い方々から、先輩の方々と巾広い年齢層による視点からの活発な意見、議論が長時間にわたりました。その様な中、議長団の二人の進行に支えられ、組合員の皆さんの真剣で前向きな討議の末、全議案、協議事項、動議二件の決定と方向づけをいただき、無事総会が終了しました。

組合員の皆さん、職員、関係機関の皆様にお礼申し上げます。

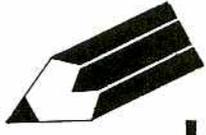
平成七年度において、なかしべつフーズの事業に大巾な欠損金を生じさせてしまいました。

この事により、役員負担、フーズの清算、解散、それに伴う処理方法、役員選出の混乱等々と本組合にとって、今だかつて経験した事の無い状況を招いてしまいました。改めておわび申し上げます。

●今月のたより……

組合長日誌

代表理事組合長
三友 盛行



この様な混乱を生じさせた執行部に対して色々な意見が出された中で、最終的には、組合員の選出した役員の執行結果は組合員、組織全体で受け止め、その重荷を担って行くという方向づけがなされ



この三年間を振り返ってみますと、反省ばかりで汗顔の至りであります。

その時々において良しと思ひ、各々に力を尽くして臨んだつもりでしたが、今思ひますと、判断、決定に適宜、適正に欠けた面が種々ありました。

また、組合員の皆さんに対して、より多くの情報の伝達と意見の集約を旨として各事業を行なっていましたがいりりましたが、まだまだ努力が不足していました。

総会を通して、改めて中標津町農協について考え、思いを巡らせました。素晴らしい組合員、農協組織の一語に尽きます。

この様な組合員、組織に相応しい役員、職員体制を一日も早い樹立を目指して努力して行きたいと念願し、決意を新にしました。

組合員の皆さんの今回流した汗の多さと、先人各位の蓄積の取り崩しの重さを改めて受け止め、農協再構築の新たな年と位置づけ邁進してまいります。まことに未熟な執行部ではありますが宜しくお願ひ致します。



第四十三回丁A婦人部通常総会
が四月二日、農協大会議室におい
て開催されました。
まず、横田部長からの開会挨拶
後、来賓の方から祝辞をいただき
ました。
続いて南共栄の長正路さん、当
幌の飯島さんを議長に選出し

婦人部から 女性部へ 名称変更

第43回 農協婦人部通常総会

部員の 自主性を求めて

議案が進行されました。

〈議案〉

- 第一号 平成七年度、事業報告並びに収支決算について
 - 第二号 平成八年度、事業計画並びに収支予算(案)の設定について
 - 第三号 会費の賦課徴収方法について
 - 第四号 規約の改正について
- 全件原案通り承認されました。
八年度からは、名称を婦人部か

ら女性部へ変更、新マークも誕生
しました。

また、部員一人ひとりの自主性
を求めるため、会費の値上げもし、
新たな気持ちで活動をすすめてい
く事となりました。

総会後は、今年度、女性部を中
心として普及を進めていく事とな



女性部として気持ちも新たに活動しようと話しあわれました

った搾乳カーットの説明を、普及セ
ンターの福井生改にいただきました。
ました。

平成八年度役員

部長 横田 純子(第二俣落)

副部長 中林 文子(俣橋)

〃 遠藤ハル子(俣落)

会計 大西ふみ江(俣橋)

監事 丹羽トシ子(武佐)

〃 筒井 鈴子(当幌)

第4回 野菜研究会 定期総会

野菜研究会第四回定期総会
が、四月十九日農協中会議室
において開催されました。

真野会長の挨拶の後、普及
センター・菅原次長、役場・板
橋係より祝辞をいただき、議
長は真野会長が代行し、提出
議案の審議が行なわれました。

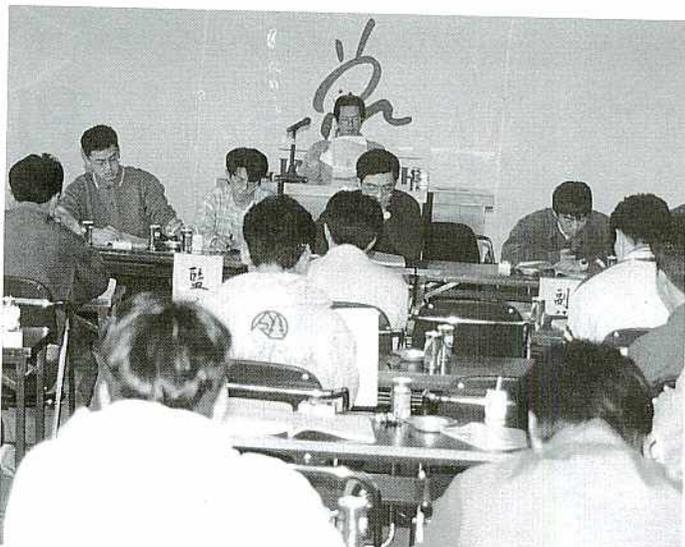
馬鈴しょ、てん菜に続く第
三、第四の作物についての今
後の見通しなどを話し合い、
全件原案どおり承認されまし
た。

引き続き行なわれた役員改
選では次の役員が選出されま
した。

会長 松田 隆

副会長 安達 幸一

監事 西崎 敬造



部員相互の連帯強化など平成8年度の取組みに向け審議された総会

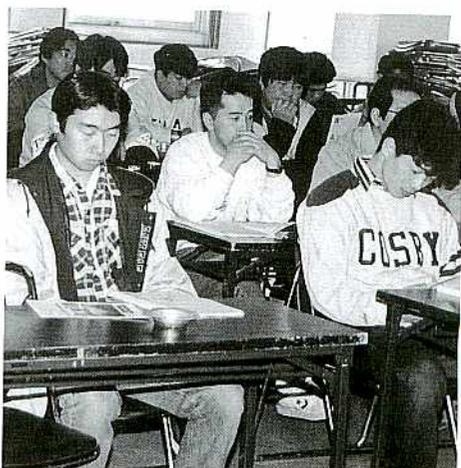
全部員参加の委員会を承認

第四十八回、中標津町農協青年部通常総会が四月九日、農協大会議室で開催されました。

開会の冒頭、高橋敏行部長が「今年度は、開町五十周年記念事業などが行なわれ大変忙しい年でしたが、部員の協力のもと無事事業を終える事が出来た。当青年部もあ

50周年に向けての検討も

第48回中標津町農協青年部通常総会



議察を見入る出席部員

と数年で五十周年を迎えるが、支部活動、本部事業を充実させ、五十周年に向けさらなる組織強化を図ってもらいたい」とあいさつ。続いて農協三友組合長、中標津町・松実茂太収入役、根室地区農青協・田中博行副会長、農協女性部・横田純子部長の四氏から祝辞が述べられました。

総会では、出席四十二人の部員から俣落支部・笠原康博氏を議長に選出し、平成七年度事業報告、平成八年度事業計画案など提出された議案全てが、原案通り承認されました。平成八年度事業方針では、現在五委員会を二委員会に統合、全部員が委員会に所属し、部員相互の連帯強化と共に学習研究活動の充実を図って行く事と、五十周年に向けて検討委員会を設置して行く事などが確認されました。

また、四十歳を迎え今総会で青年部を卒業する二人の部員に感謝状と記念品が贈呈され、じゃがいも伯爵まつりなどJA青年部と異業種交流事業を行なっている中標津町商工会青年部・館下副部長の力強い万歳三唱で総会を閉会いたしました。

平成八年度役員は次の通り決定いたしました。

- 部長 山下真二(俣橋支部)
- 副部長 山田昇(当幌支部)
- 書記 清原孝志(武佐支部)
- 監事 安達政宏(武佐支部)
- 監事 岡部達也(中標津支部)
- 監事 板橋匠(俣落支部)
- 幹事 飯島哲夫(当幌支部)
- 驚見 健(俣落支部)
- 真野一美(武佐支部)
- 森島靖雄(俣橋支部)
- 小林精一(中標津支部)
- 金子安一(俣橋支部)
- 遠藤昭男(俣落支部)

利用向上、計画日数を上回る

第七回中標津町農協酪農ヘルパー利用組合通常総会が四月二十五日、農協大会議室で開催され、平成七年度事業報告、平成八年度事業計画(案)など提出議案全件が原案通り承認されました。

平成七年度事業報告では、(ゆ)ファム・エイ通常対応が千四十日の契約日数に対し千四十五・五日の実績、また緊急対応の青年ヘルパーでは、三百日の計画に対し四百十五日といずれも当初計画を上回る実績となりました。

平成八年度事業については、専任ヘルパー四人体制による年間千四十日、青年ヘルパー三百日、ファム・エイ特別対応百日の稼働を計画し、通常対応、ファム・エイ特別対応の利用料金が改定されました。

また、利用組合規程の改正(総会における代議員制)と、役員任期満了にともなう役員改選が行なわれました。

ヘルパー利用料金の改定(改定後料金)



平成7年度ヘルパー利用状況を説明する長正路組合長

利用料金、規程の一部改正承認される

第7回酪農ヘルパー利用組合通常総会

○通常対応(ファム・エイ)

一人対応一日：一万二千五百円

二人対応一日：二万五千円

○特別対応(ファム・エイ)

一人対応一日：一万八千円

二人対応一日：三万六千円

利用組合規程の改正

○第十条(会議)

総会は通常総会、臨時総会とし、酪対七支部のヘルパー利用組合員七名に対し一名の割合で選出した代議員を以って成立し、議事は出席代議員の三分の二の賛同により議決する。

新役員

理事 中山進一(当幌) 小川征彦(中標津) 野口史朗(俵橋) 土井上晴夫(武佐) 桜井寿夫(開陽) 遠藤正幸(俣落) 佐藤康彦(第二俣落)

監事 千葉清正(開陽) 白築政博(中標津)

※組合長、副組合長、代表監事の決定については、農協理事、監事の

の意向後、互選で決定されます。

共計でん粉

3月末販売情報

平成七年度産共計でん粉の販売状況は、三月末仮配分累計一袋当り三百七十四円(前年同期八百八十九円)と前年より五百十五円、単価による進捗率は前年比四二・一割と前年同期を下廻っております。また、産地倉渡し二千七百五十円(三千二百二十五円(前年二千八百二十五円)三千三百二十五円)、東京倉渡し二千九百五十円(三千四百五十円(前年三千二十五円)三千四百五十円)となっており、前年と同様に千九百五十円となっております。

理事会

の経過

第一回理事会

開催日時 平成八年四月十六日
開催場所 中標津町農協中会議室

〈議案〉

一、第四十九回通常総会開催日程と提出議案について、原案通り決定致しました。

二、役員選挙に伴う選挙管理者などの氏名について、原案通り決定致しました。

三、肉牛生産センター草地の貸出について、原案通り決定致しました。

〈協議事項〉

一、総会議案説明地区別懇談会の日程について

二、総会前役員協議会の日程について

第二回理事会

開催日時 平成八年四月二十二日
開催場所 中標津町農協中会議室

〈議案〉

一、決算監査の報告について、代表監事より報告を受け了承されました。

二、総会提出議案の修正について、原案通り決定致しました。

三、役員選挙定数未達による再選挙について、原案通り決定致しました。

四、役員再選挙に伴う選挙管理者などの指名について、原案通り決定致しました。

〈協議事項〉

一、なかしべつフーズ(株)損失負担について

二、平成七年度なかしべつフーズ(株)決算報告(見込み)について

三、人工授精業務の時間変更について

四、役員選挙公告締切結果と今後の対応について

五、第四十九回通常総会に向けての対応について

“安心”にそなえ農協の共済へ

共済推進5月21日から



農協の生命共済推進が五月二十一日から二十四日までの四日間、組合員全戸を対象に行なわれます。農協共済は「もしも」の時にそなえておく終身、養老、こども、年金などの生命共済により組合員、ご家族の生活を生涯にわたって保障いたします。また、思わぬ火災や自然災害にそなえて建更共済の加入もお進めします。

今年も職員が皆様の各家庭を訪ねたいしますので、宜しくお願ひします。

消防署 だより 春の火災予防運動「わが家の防災」

雪が消え枯れ草や住宅、施設まわりのゴミなどが気になる季節となりました。この時期は空気も乾燥し火災が発生しやすい季節です。火災の発生を防止し焼死事故や財産の損失を防ぐために、家族みんなで「わが家の防災」について話しあってみましょう。

注意

◎乾燥牧草は「わら類」に入る指定可燃物(危険物)である認識を！
○牧草庫には車両や、トラクター

などを入れない事(マフラーなどからでも火がつく)。

○溶接などの作業も乾燥牧草などの付近で行なわないこと(溶接痕などの飛び火あり)。

○ゴミ焼き、枯れ草焼きもこれらの付近で行なわないこと(飛び火、風回りが変わる。消火出来る体制で人がつくこと)。

○飼料や肥料など発火の恐れのあるものは別の場所に保管(生石灰など)。



総会に出席した管内JA青年部代議員

第四十五回根室地区農協青年部
連絡協議会通常総会が四月二十四

日、根室農業会館を会場に
管内からの代議員五十六人
が出席し開かれました。

開会にあたり、同連絡協
議会・林義和会長が「管内盟
友の協力のもと、平成七年
度事業を実施することが出
来た。今後においても根室
地区は酪農主産地としての
位置付けをもち、明確な目
標のもとがんばっていただ
きたい」とあいさつ。

続いて来賓の中から、北
農中標津支所・猪野毛明次
支所長が「あと五年で完全
自由化の予想。それまでど



開会あいさつをする林義和会長

酪農主産地とした 明確な目標を

第45回JA根室地区
青年部連絡協議会総会

うして行くのか、経営体質強化と
自己努力が必要。しっかりとした
方向性を見出し出してほしい」と祝
辞が話されました。

総会では、議長にJA中標津・笠
原康博氏が選任され、執行部から
提出された議案全件が満場一致の

拍手で承認されました。

また、地区事業の乳質改善共励
会では最優秀にJA計根別、優秀
賞にJA中春別、JA標津が表彰
され、さらに手作り看板コンクー
ルで全国優秀賞、全道優秀賞に輝
いたJA上春別が、それぞれ表彰

されました。

総会終了後には、食品衛生法違
反事件をおこした長岡工場及び宮
城工場に対する抗議と、改善の申
し入れ文を全酪連会長宛に根室地
区農青協名で送付する事を全体で
承認し閉会しました。

なお、役員の任期満了にともな
い、平成八年度役員が次の通り決
定されました。

- 会 長 林 義和(JA別海)
- 副会長 熊坂修一(JA計根別)
- 田中博行(JA西春別)
- 監 事 小野幸一(JA別海)
- 田中弘年(JA標津)

会員の
意識を統一

第3回なかしべつ
マリンファーム
定期総会

第三回なかしべつマリンス
ファーム定期総会が、四月十
七日農協中会議室において開
催されました。

西崎部長の挨拶の後、三友
組合長の祝辞をいただき、議
長に依中の乾雅晴氏を選出し、
提出議案の審議が行なわれ、
全件原案通り承認されました。
また、品質、規格の向上、
工場運営方法などについても
検討され、「自分達の生産物を
自らの手で売る」を基本に、会
員の意識を統一して目標に向
かって行く事を確認しました。
役員の改選については、再
度会員の要望により全役員再
任となりました。

暮らしの

知恵袋



北根室地区農業改良普及センター

子供の成長は、親にとって頼もしいもの。しかし、子供にかかる教育費の負担は重く、生活への圧迫の要因とも言われています。今回はこの教育費を考えてみました。負担が大きい教育費

文化省の調査によりますと、一年間にかかる教育費は、公立幼稚園二〇・二万円、私立幼稚園四〇・七万円、公立小学校二二万円、公立中学校二七・五万円、公立高校三五・二万円、私立高校七〇・四万円となっています。

また授業料を含め大学四年間を合計しますと、国立大学で一九〇・

四万円、私立は三三〇・一万円かかっています。

教育費の捻出方法をみますと、「共稼ぎ」「教育費以外の支出を削る」「預貯金を取り崩す」となっています。また、長引く景気の低迷の影響は預貯金にも表われ、高校生以上の就学生を持つ世帯の預貯金残高の調査では、平均一六六・六万円で前年の二二七万円を下回り、高校生以上の就学生を持つ世帯は、それだけ家計に余裕が乏しいとみられます。

計画のある家計の管理を

最近では教育コースも多様化し、

教育費は必要不可欠な支出となっています。しかし、進学費用、在学費用は高水準で家計の負担は重いままであり、私学の助成や教育ローンの拡充など教育費負担を軽減させる方策が求められています。

また、家計の管理においても、教育費のように将来きつと必要になるお金を確実に積み立てるための計画性がなにより大切です。例えば、子供が現在十歳というケースで考えますと、小学・中学校の費用は毎月の生活費から支出できるとしても、五年後の高校進学や八年後の大学進学の際にはかなりまとまったお金が必要です。

子供の成長を考え、何年後にいくら必要かを考えた後、次にその金額を準備するためには毎年いくら積み立てればよいかを計算します。表は毎年の積立額を算出する例として、公立高校費用一五四万円を五年で積み立てるケースの計算方法を示しています。

こうして準備しても、親の予定外のコースを子供が

■将来のために毎年いくら積み立てればよいか？

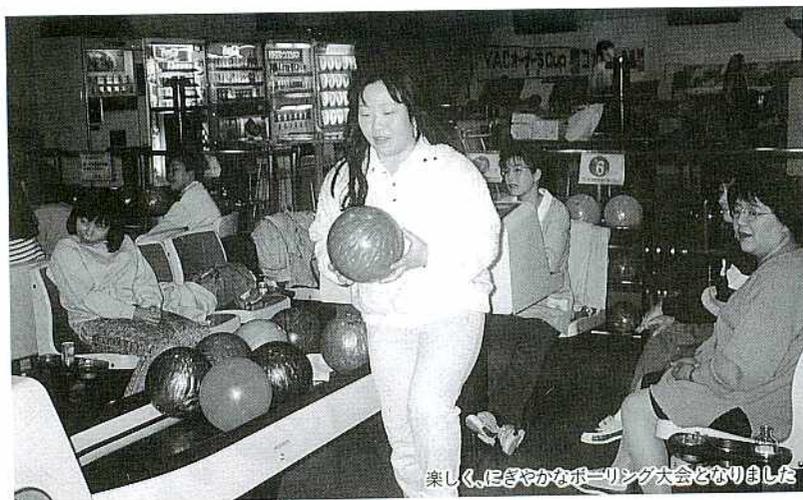
利率	1%	2%	3%	4%	5%
積立年数					
3年	0.330	0.327	0.324	0.320	0.317
4年	0.246	0.243	0.239	0.235	0.232
5年	0.196	0.192	0.188	0.185	0.181
10年	0.096	0.091	0.087	0.083	0.080
15年	0.062	0.058	0.054	0.050	0.046
20年	0.045	0.041	0.037	0.034	0.030

計算例：目標額＝154万円、積立年数＝5年、利率＝2%のばあい。

$$154万円 \times 0.192 = 29万6000円$$

選択するなど教育資金が不足することもあるでしょう。そんな場合は、奨学金制度や教育ローンを利用する必要もあると思います。教育ローンもいろいろなタイプがありますが、利用する際には老後資金に影響がでないように、返済計画をきちんと立てることが大切です。子供自身に返済をしてもらうのも一つの手立てです。

このような教育費を考えていくにはもちろん、子供の希望を聞きながら家族で話し合いを持つことがなによりも必要になります。



楽しく、ほろやかなボーリング大会と盛り上がりました

今年も活発に活動していこう フレッシュ ミセスの集い

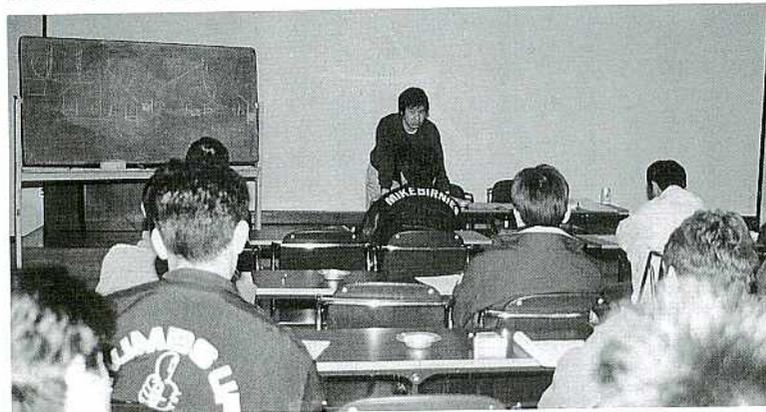
4月11日に、フレッシュミセスの集いが開催されました。午前中は、ウコウボウルにて恒例のボウリング交流会を行ない、参加者17人で楽しく過ごしました。午後から、場所を福住食堂へと移し、平成8年度の事業計画を話しあいました。

日帰り研修旅行やミニバレー大会など、楽しくみんなが集まれる場をつくり、今年も活発に活動していこうと話し合われました。



今年も仲良く、楽しく活動しよう

フレッシュ ミセスの集い



第2回目の研修会では、普及センター金光主査が講師を務めました

フリー스토ールの 本来特性を学ぶ

「フリーストール
1-2-3」研修会

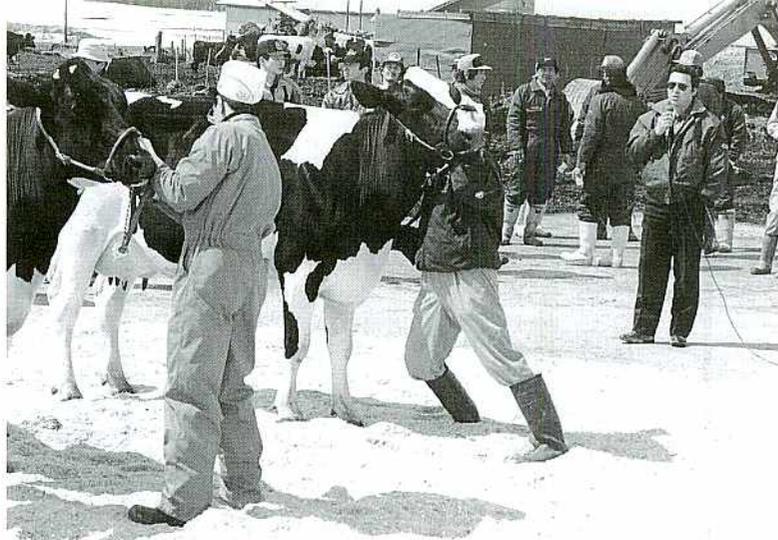
自分の経営に合ったフリーストールを考える「フリーストール研修会」が、3月18日から開催されています。

この研修は、近年、家族労働で多頭化、高所得を実現するためにフリーストール体系が増えている中、この特性（利点・欠点）が設計、投資の全ての場面で検討される必要がある事から、北根室地区農業改良普及センターとJA中標津経営相談課が主体に行なっているもの。

研修会は11月まで6回を予定し、「全体システム・労働・設計と給餌・除ふん・パーラー・経営姿勢」などのカリキュラムが予定されています。



自分の経営に相応しいフリーストール施設を勉強する参加者



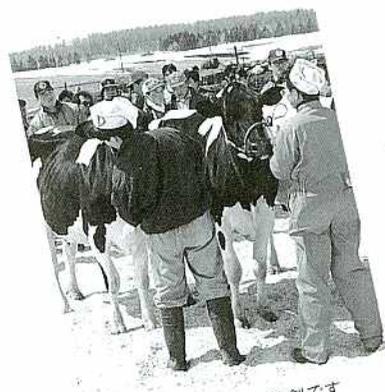
乳牛の審査 熱心に学ぶ

乳牛審査講習会

細田氏を講師に行なわれた講習会

中標津町農協乳牛改良同志会(弾正原正会長)主催による、乳牛審査講習会が4月14日、当幌地区の筒井富男牧場で開かれ、ジュニア会員も含め約60人が参加し、乳牛審査の技術を学びました。

講習会に先だち、日本ホルスタイン登録協会北海道支局の高橋邦博審査課長が改正された審査標準と線形審査形質について、高さ、強さ、深さなど実際に測尺を行ないながら15形質の説明が行なわれました。続く講習会では、別海町酪農家・細田武男氏を講師に、参加者3、4人が12グループに分かれ、一部4頭の乳牛を優秀な順に並べ、その選んだ理由を説明。最後に講師が序列を決定し講評。この審査は4部行なわれ、12グループの中から優秀グループが表彰されました。参加した会員は熱心に審査に取り組み、序列をつけていました。



序列付けに参加者も真剣です

円満な 取り決めで 経営移譲

家族協定調印式



緊張した中にも円満な取り決めが行なわれました

中標津町農業委員会が主催する第17回家族協定調印式が4月17日、中標津町役場会議室で開かれ、経営移譲を受けた6組の家族が調印を行ないました。

今回調印を行なったのはJ A中標津の三輪民雄さん、佐藤憲治さん、山田一男さん、小川清さん、永谷雄幸さんとJ A計根別の生田猛さんの6家族で、各農業委員や関係機関が立ち合う中、親と後継者それぞれが取り決めた協定書に捺印がされました。



各関係機関が見守る中、行なわれた調印式

税 知っておきたい 税の知識

税務署の処分不服があるとき

税務署に申告した所得や税額が少なかったり、確定申告をしなればならない人が申告をしなかつたときには、税務署長は調査した結果に基づき更正、または決定の処分をします。また、税金が納付されない場合には財産の差押えなどの処分を行います。この更正や決定あるいは財産の差押えなどの処分を受けたことにより、納税者の正当な権利や利益が損なわれることのないように、不服申立制度が

設けられています。この不服申立ての手続きには、税務署長に対する「異議申立て」と国税不服審判所長に対する「審査請求」とがあります。異議申立て

税務署長が行なった更正や決定あるいは財産の差押えなどの処分に不服があるときは、その処分の通知を受けた日の翌日から二カ月以内に、その税務署長に対して「異議申立て」をすることが出来ます。異議申立てがされずと、税務署では担当者を変えて改めて調査を行ない、その結果を納税者に通知します。これを「異議決定」といいます。審査請求

の通知を受けた日の翌日から一月以内に、国税不服審判所長に対して「審査請求」をすることが出来ます。審判請求がされずと、国税不服審判所では三人以上の国税審判官の合議により慎重に調査・審理が進められ議決が行なわれます。この議決に基づいて国税不服審判所長が裁決をし、その結果を納税者と税務署長の双方に通知します。国税不服審判所長の裁決を経た後もなお不服があるときや、審査請求をした日の翌日から三カ月を経過しても裁決の通知がないときは、さらに裁判所に訴訟を提起することが出来ます。

税務署へ☆

4月の組合日誌

- 2日 第1回役員協議会
- " 婦人部通常総会
- 3日 青年部役員会
- 5日 第1回生産委員会
- " 酪対役員会
- 6日 第2回役員協議会
- 9日 青年部通常総会
- 10日 地区別懇談会
- 11日 MILKコーヒー試飲会
- 13日 女性部三役会
- 15日 第3回役員協議会
- 16日 第1回理事会
- 17日 マリンスファーム定期総会
- 18日 決算監査 (20日まで)
- " SCM定期総会
- 19日 野菜研究会総会
- 22日 第2回理事会
- 23日 共進会打合せ
- 24日 青年部畑作部会総会
- 25日 酪農ヘルパー利用組合総会
- 27日 第4回役員協議会
- 30日 第49回通常総会

自動車税の納期限は

5月31日(金)です

今年も自動車税を納めていただく時期となりました。

納期内納税にご協力をお願いします。

○納めていただく方

四月一日現在で、陸運支局に登録されている自動車の所有者です。

なお、ローンで購入した場合などで所有権が売り主にあるときは、買い主である使用者の方が納めます。

○納めていただく時期

納期は五月十五日(水)から五月三十一日(金)までです。

忘れずに納期内に納めましょう。

○納税証明書

納税通知書に添付されている納税証明書は、車検を受けるときに必要ですので、車検証と一緒に大切に保管しましょう。

詳しくは、根室支庁総務部税務課へお問い合わせください。

☎(01532) 3-6131